

# 海上保安体制強化の取り組み状況

---

海上保安庁  
令和元年12月20日

# 最近の我が国周辺海域の状況

---

- 北朝鮮関連
- ・北朝鮮漁船による違法操業（大和堆）
  - ・木造船等の漂流・漂着
  - ・不審船・工作船の出没
  - ・ミサイル発射
  - ・北朝鮮からの脱北



- ロシア関連
- ・ロシア海洋調査船を確認（海洋調査は未確認）
  - ・外国漁船による違法操業



- ロシア・北方領土関連
- ・日本漁船の被だ捕（ロシア警備船による銃撃）



- 本州東方海域関連
- ・多数の外国漁船の活動



- 韓国・竹島関連
- ・外国漁船による違法操業
  - ・韓国法執行船との対峙
  - ・日本漁船の被だ捕
  - ・外国海洋調査船による海洋調査



- 尖閣諸島周辺海域関連
- ・外国公船による領海侵入等
  - ・中国・台湾活動家等による領有権主張活動
  - ・外国漁船による領海侵入
  - ・外国海洋調査船による海洋調査
  - ・小型無人機（ドローン）らしき物体の飛行



尖閣諸島

- 南西諸島関連
- ・中国漁船の太平洋進出



小笠原諸島

沖ノ鳥島

- 離島・遠方海域関連
- ・外国漁船による違法操業等
  - ・外国海洋調査船による海洋調査



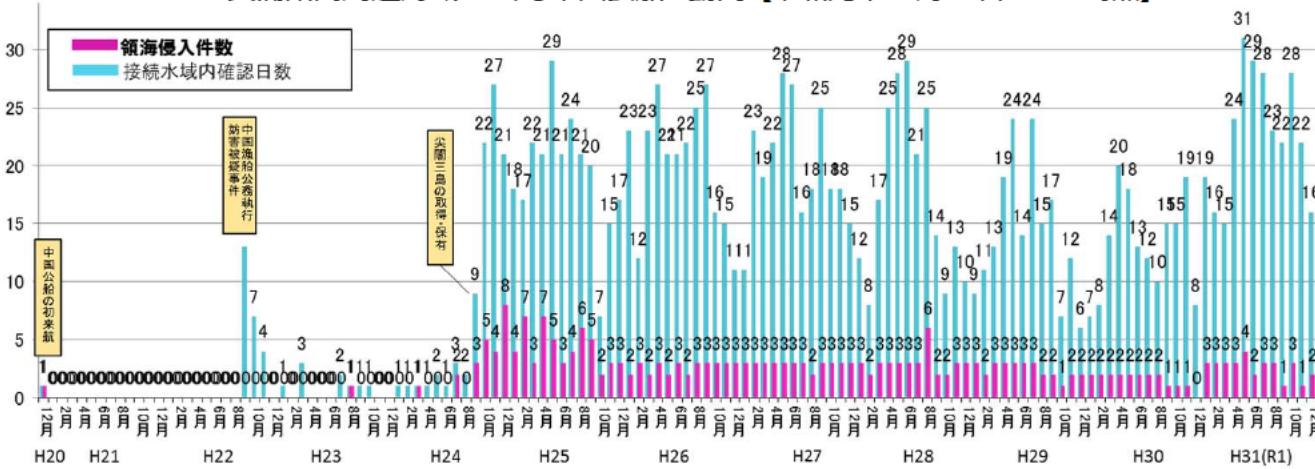
南鳥島

- 離島・遠方海域関連
- ・中国漁船による違法操業
  - ・離島への不法上陸
  - ・覚醒剤等の密輸



## 中国公船の増強・大型化・武装化

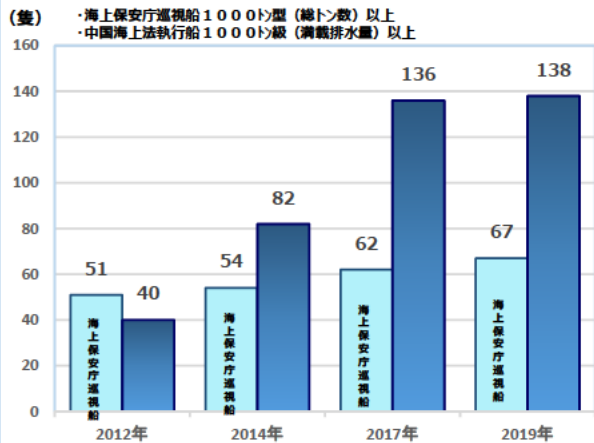
尖閣諸島周辺海域における中国公船の動向【令和元年12月19日08:00時点】



- ▶ 平成28年9月以降、**中国公船4隻**による領海侵入が多く確認されるようになってきている。(近年は中国公船3隻による領海侵入が多く確認されていた。)
- ▶ 接続水域内における年間確認日数(最多)：**273日**(令和元年12月19日08:00現在)  
※これまでの最多確認日数は、243日(平成26年)
- ▶ 接続水域内における連続確認日数(最長)：**64日**(平成31年4月12日～令和元年6月14日)  
※これまでの連続確認日数(最長)：43日間(平成26年8月9日～9月20日)

### ◎中国公船の勢力増強

#### 勢力の推移



※ 2018年12月末現在の見込み(公開情報に基づき作成(今後、変動の可能性あり))  
※ 海上保安庁巡視船は年度末現在の隻数

### ◎中国公船の大型化・武装化



大口徑の砲を装備した1万トン級中国公船

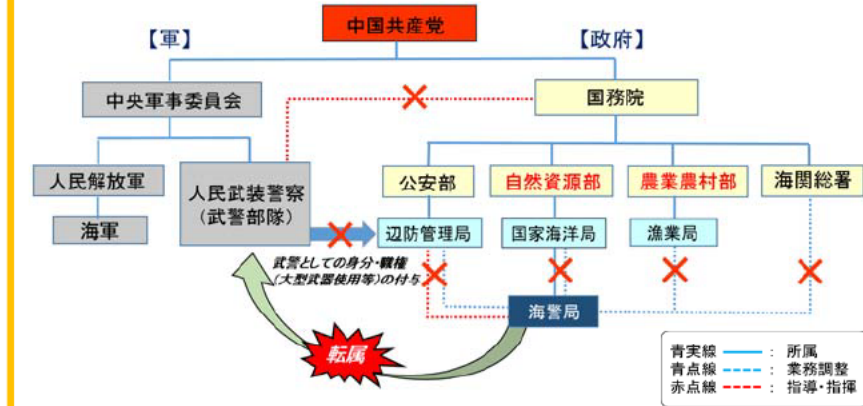


機関砲のようなものを搭載した中国公船

## 中国海洋法執行機関に係る機構改革

2018年7月1日より、海警部隊は「中国人民武装警察部隊海警総隊」となり、「中国海警局」と称され、海警局は統一的に海上権益擁護法執行権限※を履行(全人代(2018年6月)による決定)。

※履行される権限の具体的内容については、公安機関がこれまで行使してきた内容とされる。



## 外国漁船の退去警告隻数

【令和元年12月19日08:00時点】



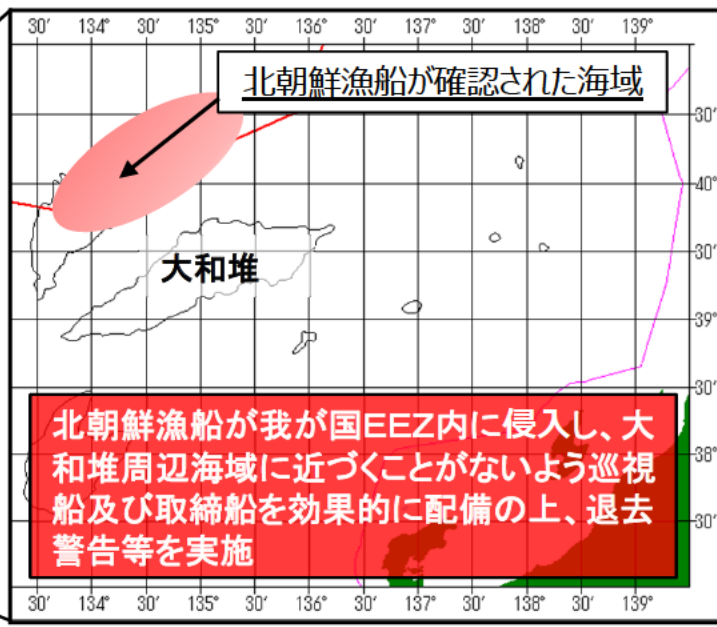


## 巡視船による北朝鮮漁船への退去警告実施隻数

令和元年 延べ1308隻 (うち放水措置252隻) (令和元年12月19日08:00現在)

※平成30年 延べ1624隻 (うち放水措置513隻)

### 北朝鮮漁船への対応状況 (イメージ)



### 大和堆周辺水域における高速艇接近

#### 8月23日の事案

◆ 午前9時30分頃、水産庁取締船に北朝鮮籍と思われる高速艇が接近

#### 8月24日の事案

- ◆ 午前9時頃、監視警戒中の巡視船に北朝鮮籍と思われる高速艇が接近
- ◆ 高速艇の乗組員は、巡視船へ向け小銃のようなものを構えたほか、ビデオ撮影と思われる行動をとる



### 北朝鮮漁船の状況



### 北朝鮮漁船への退去警告



### 水産庁取締船と北朝鮮籍とみられる漁船の衝突

- ◆ 10月7日午前9時25分頃、大和堆周辺海域において外国漁船取締り中の水産庁取締船「おおくに」から、「午前9時7分頃、北朝鮮籍とみられる漁船と衝突した。」との連絡
- ◆ 北朝鮮籍とみられる漁船は、午前9時25分頃沈没
- ◆ 現場に現れた別の北朝鮮籍とみられる漁船が、漂流者(60名)を救助



## 平成30年7月豪雨(平成30年7月西日本中心)

- ◆対応状況
- ・ 捜索救助
- ・ 負傷者等の搬送
- ・ 巡視船による給水支援
- ・ 支援物資の搬送
- ・ 海上輸送路の安全確保
- ・ 漂流物の回収



○巡視船・航空機を派遣し、捜索救助や被災者支援を実施

○特殊救難隊・機動救難士等の救助技能を活用

○重要施設周辺海域における走錨事故防止対策の実施

## 北海道胆振東部地震(平成30年9月)

- ◆対応状況
- ・ 巡視船による電源供給支援
- ・ 支援物資の搬送・提供



## 令和元年台風15号(令和元年9月関東地方)

- ◆対応状況
- ・ 巡視船による給水支援
- ・ 巡視船による入浴提供
- ・ 巡視船による電源供給支援
- ・ 走錨事故防止対策の実施



## 令和元年8月の前線に伴う大雨(令和元年8月九州北部)

- ◆対応状況
- ・ 捜索救助
- ・ 孤立者救助
- ・ 油防除技術支援



## 令和元年台風19号(令和元年10月東日本中心)

- ◆対応状況
- ・ 捜索救助
- ・ 孤立者救助
- ・ 巡視船による入浴提供
- ・ 巡視船による給水支援
- ・ 走錨事故防止対策の実施



## 屋久島豪雨(令和元年5月)

- ◆対応状況
- ・ 災害対応職員の搬送
- ・ 巡視船による給水支援
- ・ 支援物資の搬送





## 基本的な考え方

「自由で開かれたインド太平洋(FOIP: Free and Open Indo-Pacific)」の実現に向け、東南アジア、インド洋、太平洋地域でのプレゼンス発揮に係る取組を推進するとともに、沿岸国の海上保安能力向上支援を強化

### <FOIPのポイント>

- 海における法の支配といった基本的価値の共有
- 航行の自由及び海上安全を確保するため、シーレーン沿岸国の海上保安機関の能力強化

### 外国海上保安機関の能力向上支援

- ◆ 海上保安庁モバイルコーポレーションチーム※(MCT)派遣や連携訓練の推進  
※ 外国海上保安機関に対する能力向上支援の専任部門(平成29年10月発足)
- ◆ 海上保安政策プログラム(1年、修士レベル)による人材育成支援

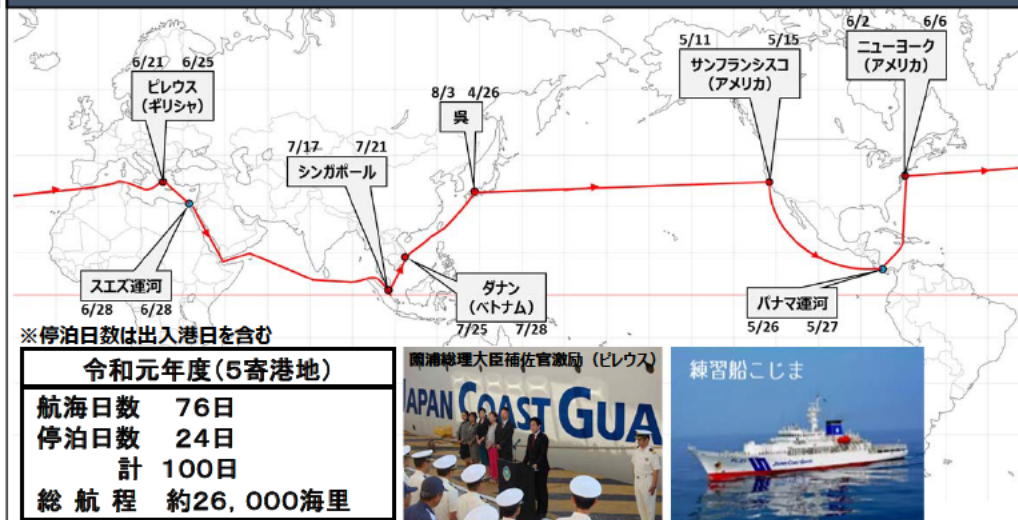
### 国際連携強化・プレゼンス向上

- ◆ 二国間・多国間会合開催
- ◆ 海賊対処派遣船・練習船等による戦略的寄港の推進

### 海上保安庁の主な国際業務の実績(平成28年～)



### 令和元年度 練習船こじま遠洋航海寄港地



### 尼海上保安機構との協力文書交換 (令和元年6月、東京)



### 北太平洋海上保安フォーラムサミット (令和元年9月、ロシア・ウラジオストク)



### アジア海上保安機関長官級会合 (令和元年10月、スリランカ・コロンボ)



### 世界海上保安機関長官級会合 (令和元年11月、第2回長官級会合)



法の支配に基づく自由で開かれたインド太平洋の実現に向けた取組を強化

# 海上保安体制整備の進捗状況

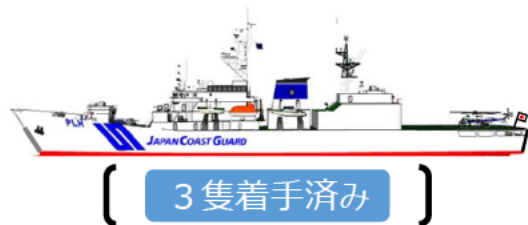
---



| 事 項                 | 体制強化の主な内容  | 既に着手しているもの  | 1 補正及び2 当初予算で措置予定のもの  |
|---------------------|--|---|---|
| 尖閣領海警備体制の強化         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国公船の大型化・武装化・増強への対応</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ヘリコプター1機搭載型巡視船（3隻）</li> <li>➢ ヘリコプター2機搭載型巡視船（1隻）</li> <li>➢ 大型巡視船（4隻）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <b>ヘリコプター2機搭載型巡視船2隻</b></li> <li>➢ <b>大型巡視船2隻</b></li> </ul> |
| 海洋監視体制の強化           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東シナ海、日本海の重点監視</li> <li>● 東シナ海列島線における外国調査船・漁船の監視</li> <li>● 映像伝送機能の強化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 新型ジェット機（3機）</li> <li>➢ 監視拠点（27箇所）</li> <li>➢ 映像伝送装置（13式）</li> <li>➢ 衛星画像購入・分析</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <b>映像伝送装置2式</b></li> <li>➢ <b>新型ジェット機1機</b></li> </ul>       |
| 原発等テロ対処・重要事案対応体制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本海側における原発等テロ対処体制整備</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大型巡視船（2隻）（再掲）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <b>大型巡視船（1隻）（再掲）</b></li> </ul>                              |
| 海洋調査体制の強化           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東シナ海における中国・韓国の対抗調査体制の整備</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大型測量船（2隻）</li> <li>➢ 中型飛行機（測量機）1機</li> <li>➢ 既存大型測量船の高機能化（2隻）</li> <li>➢ AOV（20式）</li> </ul>   |   |
| 基盤整備                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 海上保安学校等教育訓練施設の拡充</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 小型ヘリ（1機）、小型飛行機（5機）</li> <li>➢ 保安学校機能拡充（学校プール通年化）</li> <li>※航空機調達の見直しによる予算の有効活用で対応</li> <li>➢ 104人緊急増員</li> <li>➢ 338人増員（220人合理化等）</li> <li>➢ 467人増員（217人合理化等）</li> <li>➢ 423人増員（223人合理化等）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <b>定員436人増員予定（286人合理化等）</b></li> </ul>                       |

「海上保安体制強化に関する方針」に基づき、我が国周辺海域における重大な事案に対応するため、海上保安体制の強化を推進

## 尖閣領海警備体制等の強化



3隻着手済み

ヘリコプター搭載型巡視船PLH  
(ヘリ1機搭載) 6,500トン



2、3隻目措置予定  
1隻着手済み

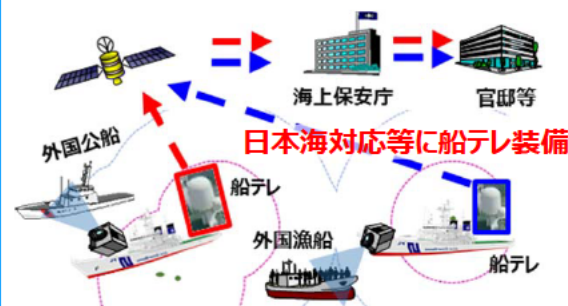
ヘリコプター搭載型巡視船PLH  
(ヘリ2機搭載) 6,000トン



3隻目措置予定  
2隻着手済み

大型巡視船PL 3,500トン

## 海洋監視体制の強化



2式措置予定  
13式着手済み

映像伝送機能等の強化



(イメージ)

4機目措置予定  
3機着手済み

新型ジェット機

尖閣諸島周辺海域を巡る情勢に応じ、応援派遣

## テロ・重要事案対応体制の強化



3隻目措置予定  
2隻着手済み

大型巡視船PL 1,500トン

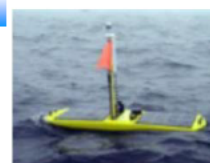
## 海洋調査体制の強化



2隻着手済み  
大型測量船

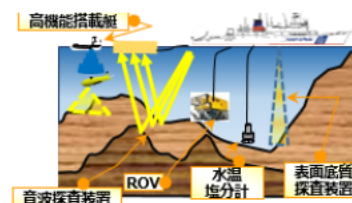


1機着手済み  
中型飛行機(測量機)



20式着手済み

AOV(自律型海洋観測装置)



2隻着手済み

既存大型測量船の高機能化

## 基盤整備

2当初  
定員436人増員予定  
(286人合理化等)



海上保安学校総合実習棟

継続措置予定

教育訓練施設  
基盤整備

## 「海上保安体制強化に関する方針」に基づく体制の強化

### 令和元年度に就役する船艇及び航空機



28補正

れいめい

（総トン数 約6,500トン・全長 約150メートル  
ヘリコプター1機搭載）

ヘリコプター搭載型巡視船（PLH型）



28補正

（イメージ）

新型ジェット機



28補正

しゅんこう

（総トン数 約6,000トン・全長 約140メートル  
ヘリコプター2機搭載）

ヘリコプター搭載型巡視船（PLH型）



28補正

平洋

（総トン数 約4,000トン・全長 約100メートル）

大型測量船（HL型）



28補正

みやこ

（総トン数 約3,500トン・全長 約120メートル）

大型巡視船（PL型）



29当初

つるが

大型巡視船（PL型）

### 治安・救難・防災対策の充実・強化



27補正

みずほ  
R1.8.22 就役

（総トン数 約6,000トン・全長 約135メートル）

ヘリコプター搭載型巡視船（PLH型）

### 令和2年度に就役する船艇及び航空機



29当初

（総トン数 約6,500トン・全長 約150メートル  
ヘリコプター1機搭載）

ヘリコプター搭載型巡視船（PLH型）



29補正

（総トン数 約1,500トン・全長 約100メートル）

大型巡視船（PL型）



30当初

光洋

（総トン数 約4,000トン・全長 約100メートル）

大型測量船（HL型）



30補正

中型飛行機（測量機）